

# 令和4年度 瑞雲こども園職員 自己評価表について

園の基本姿勢について（5項目）

幼保連携型認定こども園教育・保育要領

第1章 総則（47項目）

幼保連携型認定こども園における教育及び保育の基本及び目標等

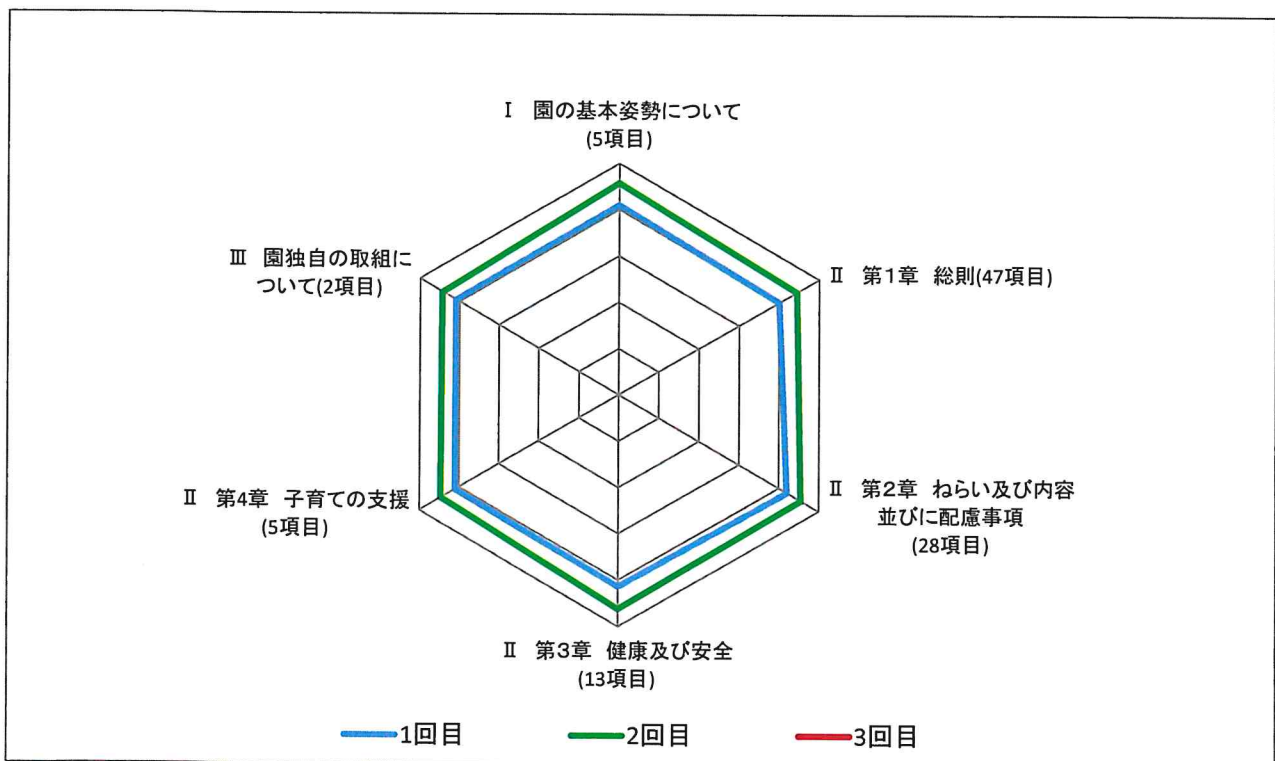
第2章 ねらい及び内容並びに配慮事項（28項目）

第3章 健康及び安全（13項目）

第4章 子育ての支援（5項目）

園独自の取り組みについて（2項目）

以上、100項目を自己評価し、今年度の反省をもとに次年度の改善内容を検討していきます。



今回の評価が低かった3項目についてお知らせします。

Q7「就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律」(認定こども園法)第2条第7項に規定する目的及び第9条に掲げる目標を知っている。

改善→就学前の5歳児のクラスの生活や保育内容を全職員が把握できるように会議等で伝えるとともに、幼保連携型認定こども園教育保育要領をよく読み全員が理解できるように発信していく。

Q27 認定こども園の教育及び保育において育まれた資質・能力を踏まえ、小学校教育が円滑に行われるよう、小学校の教師との意見交換や合同の研究の機会などを設け、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有するなど連携を図り、認定こども園における教育及び保育と小学校教育との円滑な接続を図るよう努めている。

改善→

全体的な計画にも小学校接続の担当者がおり、今年は山田先生が担当。


幼保小の連携の連絡会にも園長先生、主幹が出向き校長先生と面接している。その際、子どもたちの成長における『10の姿』をもとに要録を作り補足のある子は伝えている。

小学校の教師と常に連絡が取れる関係になっている。

Q99 園独自の教育・保育方針及び教育・保育体制(セカンドステップ、コモンセンス・ペアレンティング等)を把握している。

改善→年間セカンドステップやコモンセンスについて園内研修などで実際に職員が体験し、職員同士で実践してみることで内容の理解を深めていく。

来年度の保育サービスでセカンドステップとコモンセンスの内容を分かりやすく書いたものを配る。

全体評価	園長	北沢道子		副園長	梶浦邦康		保育サービス委員会責任者	本田淳子	
------	----	------	---	-----	------	---	--------------	------	---